

病院連絡会(第2回)について (大阪市二次医療圏)

参考資料2

1 「病院連絡会」とは

2025年に向け病院の自主的な取組を支援していくため、府が有する医療実態に関する資料を提供するとともに、将来のあるべき医療体制の方向性等について協議を行い認識の共有を図ります。

【設置背景】

- ・厚労省は、地域医療構想の推進にあたって、地域医療構想調整会議において協議を進めることを想定している（公立病院・公的病院を中心とした協議）。
- ・大阪府における地域医療構想調整会議（保健医療協議会）は、各団体の代表者から構成されており、すべての関係病院と将来像について認識を共有することが難しい。そこで、すべての関係病院と将来像について認識の共有を図るため、新たに全病院参加型の病院連絡会を設置した。

- (1)参加対象者 病院長（病院管理者）等病院の経営に関わる医師
- (2)オブザーバー 大阪府医師会、大阪府病院協会、大阪府私立病院協会、地区医師会
- (3)司会進行 健康局健康施策課

2 第2回病院連絡会の概要

- (1)開催時期 平成30年10月頃（東西南北ブロックに分けて開催予定）
- (2)所要時間 2時間30分～3時間程度
- (3)内容（案）

① 全体説明

- ・本日の進め方
- ・資料説明（データ修正・更新を反映したもの）
- ・将来のあるべき姿の到達度を測定する指標(案) ⇒ ☆ 1 参照

② グループ別協議 ⇒ ☆ 2 参照

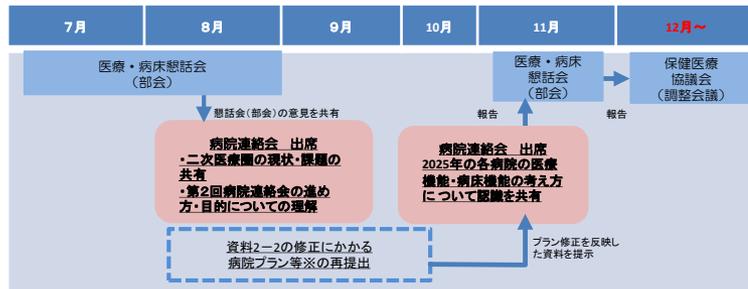
- ・概ね10病院単位でグループを構成
- ・ファシリテーター：健康局、保健所等

討議テーマ 各病院の今後の方向性

③ 全体協議

- ・グループ協議の結果についての共有と意見交換（当日の総括）

【今後のスケジュール】 下線部が各病院に関わる内容



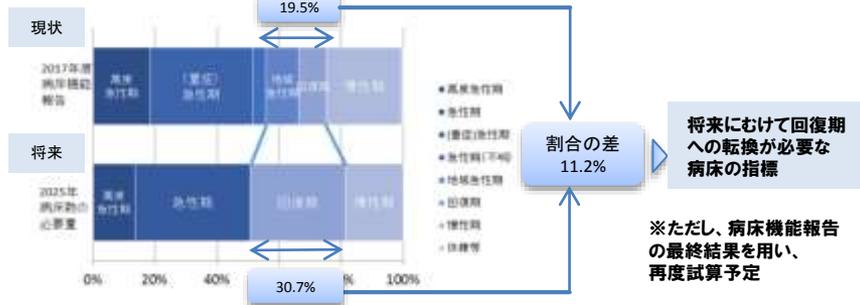
※公的医療機関等2025プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査

☆1 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標(案)

・大阪府保健医療連絡協議会（1月頃開催予定）において、資料2-1（大阪市二次医療圏「地域医療構想」現状と課題と今後の方向性）に記載のある（下記図参照）、将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（今後のモニタリング指標）を設定する予定です。

・指標は、病床機能報告の診療実態分析を踏まえ評価していますが、現在の分析は、病床機能報告の暫定結果（平成30年2月の状況）を用いて算出しているため、病床機能報告の最終結果（平成30年6月の状況）を用いて再度分析する予定にしています。

・第2回病院連絡会では、病床機能報告最終結果を踏まえた指標について確認後、保健医療協議会に向けて、関係病院間で指標の認識の共有を図ります。



☆2 グループ別協議（各病院の今後の方向性について）

各病院の機能や位置関係を考慮したグループにおいて、各病院の今後の方向性等の情報等をもとに、相互連携・補完による病床機能分化・連携の推進について、協議します。

○進め方（予定）

Step 1

・各病院長から、病院プラン等に基づき、自院の考え方についてご説明（5分程度）。

Step 2

・説明後、質疑応答・意見交換を行います。

【特に、ご説明いただきたい事項】

- ①地域において今後担うべき役割
- ②2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無
- ③許可病床と稼働病床数との差及びその理由

【現在の資料2-2に該当】

【特に確認が必要な項目】

公立・公的病院は、公的資金等が投入されていることを踏まえ、当該病院でないと思えない医療を中心とした将来プランとなっているか。

意見交換等終了後、次の病院の説明に移ります。（上記の繰り返し）

【病院連絡会に参加することで】

自院の立ち位置などを把握でき、2025年に向けた病院の今後の方向性について、より具体的に御検討いただくことが可能になります。